

## ▶ タイ・ピントン新工場棟が竣工

12月6日、当社グループのタイ現地法人である Daifuku (Thailand) Ltd.(本社:バンコク)は、ピントン新工場棟の竣工式を執り行いました。

同新工場棟は、タイならびにベトナムを含むアセアン地域において、自動車生産ライン向けシステムおよび一般製造業・流通業向けシステムの受注量の拡大に対応するために建設したものです。

当社グループでは、米国、中国、韓国の現地法人でも工場を新設・拡張しており、日本の体制強化と併せてグローバルな生産能力の拡充に注力しています。



竣工式のテープカット。

## ▶ 「関西財界セミナー賞」大賞を受賞

2月6日～7日に国立京都国際会館で開催された第58回関西財界セミナー(共催:関西経済連合会、関西経済同友会)において、当社は「関西財界セミナー賞2020」の大賞を受賞しました。

同セミナーでは毎年、関西において優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人などを表彰しています。当社は、電子商取引の拡大や省人化などの社会的ニーズを背景に物流システムの高度化を通じ、産業界全体の生産性向上に貢献している点が高く評価され、受賞に至りました。



表彰状を受け取る当社執行役員(左)。

## ▶ 日本航空様へSBDを納入

当社は、日本航空株式会社様(本社:東京都品川区)と共同開発したセルフ手荷物チェックインシステム(SBD)を納入しました。SBDは、搭乗者自身が画面の表示に従い、自らの操作で手荷物を預けることが可能で、有人カウンターでの複数の手続きによる待ち時間を大幅に削減できることから、近年、世界の多くの空港が導入を進めています。

日本航空様は「JAL SMART AIRPORT」構想の一環として、国内線で初となるSBDを導入。2020年2月より羽田空港国内線第1旅客ターミナルにて6台の供用を開始し、2020年の夏までに計38台を導入する予定です。



羽田空港国内線ターミナルに設置された当社システム。

## ▶ 「脱炭素チャレンジカップ」で受賞

2月19日、東京大学伊藤謝恩ホールで「脱炭素チャレンジカップ2020」が開催され、当社総合展示場の日に新館が「最優秀ストーリー賞」を受賞しました。

同イベントは、学校・企業・自治体・NPOが取り組んでいる地球温暖化防止につながる活動を募集し、発表の場を設けることで情報共有やさらなる活動の促進を目的とした全国大会です。10回目となる今年は、全国から183団体の応募があり、28団体がファイナリストとして選出されました。

日に新館はファイナリストとして最終選考に出場。



最優秀ストーリー賞を受賞。

「CO<sub>2</sub>排出量ゼロの展示館による脱炭素社会促進活動」と題して、当社のさまざまな取り組みをアピールしました。



# アナタだけの価値のために。

## ネット通販を支えるダイフクの物流システム

新しいサッカーボール、人気のゲーム機...。欲しいものがあれば、何でもすぐ手に入る時代。

どのお店にも売っていなかったブリキのロボットだって、ネット通販なら見つけれられるかもしれません。

一人ひとりの要望に、一つひとつ応えていくチカラ。あらゆる要望に応えていく「DAIFUKU」の

最新マテハンシステムが、確実に、スピーディに、アナタと商品をつないでいきます。

擬人化したブリキのロボットが、「DAIFUKU」のマテハンシステムを介して、少年の元へ届くまでの物語をYouTubeで公開中。

アナタだけの価値のために

検索



**DAIFUKU**  
Always an Edge Ahead